

# 研究員 の眼

## サマージャンボ 2022 はシンプル化 狙いが明確な2つのくじをどう組み合わせるか?

保険研究部 主席研究員 篠原 拓也  
(03)3512-1823 tshino@nli-research.co.jp

新型コロナは、第6波が過ぎて改善傾向が続いてきた。経済活動の再開も進み、朝の通勤・通学はコロナ以前の姿に戻りつつある。ただ、6月下旬に入って、全国の新規感染者数は前週同曜日比で増加に転じており、今後の感染拡大の動向は、なお予断を許さない状況となっている。

そんな中、今年も、サマージャンボ宝くじの発売時期がやってきた。最高当せん金は、1等・前後賞合わせて7億円と、年末ジャンボに次ぐ高額だ。今回の宝くじでは、当せん金などの仕組みが、昨年から大きくシンプル化されている。変更点を見ながら、今年はどう狙うべきか、少し考えてみよう。

### ◆ サマージャンボは、シンプルに7億円狙い

サマージャンボ宝くじには、他のジャンボ宝くじと同様、「ジャンボ」と「ジャンボミニ」の2つがある。今回、「1等・前後賞合わせて7億円」のうたい文句で発売されるのは、サマージャンボだ。一方、サマージャンボミニの当せん金は、1等3000万円が最高額となっている。

それでは、サマージャンボは、昨年からどのように変更になったのか。

主な変更点は、つぎの4つだ。

#### (サマージャンボの主な変更点)

- (1) 2等1000万円(当せん本数1ユニット(1000万枚)あたり2本)がなくなった
- (2) 3等100万円(当せん本数1ユニットあたり10本)がなくなった
- (3) これらの結果、1ユニットあたりの当せん本数は111万214本から111万202本に減少
- (4) 1枚300円に対する当せん金の平均受取額は、144.49円から141.49円に減少

つまり、(1)と(2)で当せん金 1000 万円と 100 万円がなくなった。その他の当せん金や当せん本数は変更されていない。

これは、1000 万円や 100 万円の間間的な高額当せん金をやめて、高額当せんとして、1 等・前後賞合わせて 7 億円をシンプルに狙う形に変更したものと見える。

とにかく、単純明快に 7 億円の高額当せんを狙う。サマージャンボは、「高額当せんのドキドキ感を楽しむためのくじ」と見えるだろう。

### ◆ ミニは、究極のシンプル化 — 当せん金 1 万円以上の本数が 2.3 倍に増加

いっぽう、サマージャンボミニはどうか。ミニには、究極のシンプル化が図られている。

主な変更点は、5 つにまとめられる。

#### (サマージャンボミニの主な変更点)

- (1) 当せん金 1000 万円の 1 等の前後賞(当せん本数は 1 ユニット(1000 万枚)あたり 8 本)がなくなった
- (2) 2 等 5 万円と 4 等 3000 円(当せん本数は、それぞれ 1 ユニットあたり 3000 本、10 万本)がなくなった
- (3) 3 等 1 万円が 2 等となり、当せん本数は、1 ユニットあたり 4 万本から 10 万本に増加
- (4) これらの結果、1 ユニットあたりの当せん本数は 114 万 3012 本から 110 万 4 本に減少
- (5) 1 枚 300 円に対する当せん金の平均受取額は、135 円から 142 円に増加

つまり、(1)と(2)で従来の当せん金 1000 万円や 5 万円、3000 円の当せんがなくなった。一方、(3)で当せん金 1 万円の当せん本数を大幅に増やしている。

これにより、1 万円以上の当せん金が当たるくじの本数は、1 ユニット(1000 万枚)あたり、昨年の 4 万 3012 本から、今年は 10 万 4 本へと 2.3 倍に増加している。

これは平均的にいうと、1 枚 300 円のくじを 100 枚買ったなら、その中に 1 万円以上の当たりが 1 枚含まれていることを意味する。ただし、そのためには、3 万円が必要となり、平均的には持ち出しとなるので注意が必要だ。

サマージャンボミニは、当せん金 1000 万円の 1 等の前後賞や、5 万円、3000 円といった当せん金をなくして、1 万円の当せん金に集中したものに変貌している。削(そ)ぎ落せるものは削ぎ落して、1 等

3000万円、2等1万円、3等300円の3つに集約するという、究極のシンプル化を実現した仕組みとなった。

それでいて、(5)で1枚300円に対する当せん金の平均受取額は、135円から142円に増加している。この平均受取額は、サマージャンボを少し上回る金額に設定されている。

サマージャンボミニには、サマージャンボのような億円単位の高額の当せん金はない。しかし、平均的にはサマージャンボよりも受け取りが少しだけ多い。これは、2つのくじの間で、当せん金の受取額についてのバランスが確保された、とみることができるだろう。

このように、サマージャンボミニは、当せん金3000万円の1等を狙いつつも、1万円の当せんに軸足を置いた、「高確率当せんのワクワク感を味わうためのくじ」と位置づけられる。

## ◆ 2つのくじをもとに、当せんへの期待を膨らませる

今回のサマージャンボ宝くじは、ジャンボもジャンボミニもシンプル化が図られて、狙いが明確化された。宝くじを買うときには、「高額当せんのドキドキ感」と、「高確率当せんのワクワク感」の2つの楽しみ方があるはずだ。その2つをわかりやすく追求するためのくじ——それが、今回のサマージャンボ宝くじといえる。

もちろん、「高額当せんのドキドキ感」と「高確率当せんのワクワク感」をどう組み合わせるか、は人それぞれだ。

—「サマージャンボで、7億円の大きな夢を見るか？」

—「究極のシンプル化が図られたサマージャンボミニで、高確率の1万円当せんを夢見るか？」

—「2つの夢のために、ジャンボとジャンボミニのくじを何枚ずつ買うことにするか？」

いろいろ考えているうちに、ドキドキ感やワクワク感を味わうことができれば、幸せな時間を過ごすことができる。この段階で、すでに宝くじを楽しむことができたといえるかもしれない。

今回のサマージャンボ宝くじの発売期間は8月5日(金)で抽せん日は8月17日(水)。購入を考えるための時間は、たっぷりある。夏の楽しみの1つとして、宝くじを考えてみるのもよいと思われるが、いかがだろうか。

(本稿をまとめるにあたり、参照した Web サイト)

「宝くじ公式サイト」(全国都道府県及び全指定都市)

<https://www.takarakuji-official.jp/>